

コイトのこころ

安全と快適を求めて

KOITO ELECTRIC INDUSTRIES News Letter

Vol.1

8

月号

KOITO®



【発行元】営業本部 販売推進室

TEL.045-826-6820

青空と入道雲、そして蝉の大合唱とともに、本格的な夏が到来。海山が恋しくなる一方で、連日の暑さには、体調を崩しがちではないでしょうか。

コイトのこころ Vol.1 では、将来的には、私たちの健康促進にもつながりうる研究や、安全・快適な毎日の暮らしをサポートする、当社の技術、製品を取り上げます。

本社営業部 TEL.045-826-6780・FAX.045-826-6788

札幌支店

TEL.011-722-5211

FAX.011-722-5221

名古屋支店

TEL.052-939-3970

FAX.052-939-3971

九州支店

TEL.092-431-0838

FAX.092-474-4660

東北支店

TEL.022-225-7501

FAX.022-267-5053

大阪支店

TEL.06-6367-2400

FAX.06-6367-2405

富士長泉工場

TEL.055-988-7101

FAX.055-988-7146

TOPICS.01 「食べるワクチン」の研究に、遺伝子組み換え温室の設計・施工で貢献



【納品先】

一般財団法人 日本生物科学研究所 様

【納品内容】 遺伝子組み換え温室

当社は、日本有数の研究機関に対して、実験用施設や大量生産施設など、様々な生物環境調節装置を設計・施工しています。また海外への技術協力も積極的に進めており、これまでに韓国、中国、タイ、フィリピンなど、10カ国以上に納入実績があります。

今、注目を集めている、注射ではなく口から摂取する次世代型ワクチン、MucoRice の栽培にも、当社の技術が活かされています。MucoRice とは、感染症予防につながる遺伝子を組み込んだお米。コレラ菌の研究から始まり、ノロウイルスをはじめ、他の腸管感染症への応用も期待されています。

60年以上、動物の病理研究や医薬品

開発を行う日本生物科学研究所様では、家畜用ワクチンの開発を進めており、当社は、MucoRice を栽培する温室設備を製作、納入しました。

従来のガラス温室では、耐震性や強度を保つための建材が、温室内に不均等な陰を落とすことが課題でした。照度が均一に保たれるなど、MucoRice の栽培施設として最適な環境を構築するため、設計事務所やガラスメーカーと協業。建築基準法は満たしながらも、太いガラスフレームを全く使わない閉鎖系ガラス温室を実現。4部屋ある栽培室はそれぞれ独立して温度を制御でき、栽培条件による変化も検討可能な設備となっています。

TOPICS.02 街の快適・安全を実現する再開発事業に参加



【案件】

戸塚駅再開発

【納品内容】

OPTIS α
非常警報装置

横浜市が、安心・安全で暮らしやすい街づくりを目指して進めてきた、戸塚駅西口における再開発事業が、計画決定から50年を経て、一昨年に完了。戸塚区総合庁舎のほか、駅前の交通インフラが整備されました。そして今年3月には、戸塚アンダーパス（地下車道）も開通。1時間のうち最長57分が遮断されている戸塚大踏切の解決策として設置されたもので、当社は、LED照明灯「OPTIS α」と、非常警報装置を納入し、地域の人々の安全で快適な暮らしをサポートしています。

「OPTIS α」の特徴は、道路照明としてふさわしい照度を最小の電力で満たす、圧倒的な省エネ性能。長寿命を誇る光源は、1日11時間の点灯でも、約15年間交換不要です。また従来品より外装などを一新することで、国内最高レベルの薄型・軽量化を実現し、取付作業時の重量負担を大幅に削減しました。

道路に設置する製品として、安全面への配慮は欠かせません。「OPTIS α」は、配線を複数の系統に分割することで、万が一、一つの系統が故障し滅灯しても、他系統の点灯は維持される仕様となっています。また非常警報装置は、トンネル内で事故や火災などが発生した際、警報表示板で情報提供を行い二次災害を防止します。同時に、道路管理者や関係機関に通報します。

熱中症を予防するには？



- ①涼しい服装
- ②日陰を利用
- ③日傘・帽子
- ④水分・塩分補給

- ・無理をせず徐々に身体を暑さに慣らしましょう
- ・室内でも温度を測りましょう
- ・体調の悪いときは特に注意しましょう

引用：環境省 熱中症予防情報サイト